

やすひと
秩父宮雍仁親王殿下について

明治35年(1902)6月25日、昭和天皇の一つ下の弟宮としてお生まれになり、20歳の御成人と同時に秩父宮家を創立されました。若き日の殿下はスポーツを愛好され特にスキー・ボート・登山を好まれ、様々なスポーツの振興に尽くされ国民からは「スポーツの宮様」と呼ばれました。また、戦時下より一貫して戦争拡大政策に批判的で、戦後は御別邸においても御療養生活を送りながら執筆活動をなさいました。その人柄は広く国民から親しまれていました。



せつこ
勢津子妃殿下について

明治42年(1909)9月9日、外交官松平恒雄(旧会津藩主松平容保の四男)長女節子嬢としてお生まれになり、大正天皇皇后であった貞明皇后と御名前の表記が同じであったために御結婚を機に「勢津子」と改名されました。

学習院初等科時代には毎夏、中畑にあった榊山伯爵別邸(現在の市立西中学校)で白洲正子様と楽しく遊ばれたというので幼少時より御殿場に御縁がありました。この地をこよなく愛された妃殿下は殿下が薨去された後も夏期を中心に御別邸で生活されました。

昭和14年(1939)5月には(財)結核予防会の総裁に就任されました。殿下が薨去された後もその御経験を踏まえて、結核の撲滅を目指し熱心に活動されました。御殿場市への御別邸遺贈は妃殿下の御遺言によるものです。

昭和天皇の弟宮 秩父宮雍仁親王殿下御事蹟

- 1902年(明治35年) 6月25日 皇太子嘉仁親王(大正天皇)の第二男子として青山御所で御誕生
- 1909年(明治42年) 4月12日 学習院初等科御入学
- 1920年(大正 9年) 10月 1日 陸軍士官学校御入学
- 1922年(大正11年) 6月25日 秩父宮家御創立
- 10月25日 陸軍少尉に御任官
- 1925年(大正14年) 5月24日 英国御留学にご出発
- 1928年(昭和 3年) 9月28日 松平勢津子様と御成婚
- 1929年(昭和 4年) 10月10日 明治神宮体育大会総裁に御就任
- 1937年(昭和12年) 5月12日 英国皇帝陛下戴冠式に御名代として御参列
- 1941年(昭和16年) 9月16日 御殿場御別邸に御移居
- 1945年(昭和20年) 5月25日 赤坂表町御殿本館空襲にて全焼
- 1945年(昭和20年) 8月15日 終戦の玉音放送を当地で拝聴
- 1952年(昭和27年) 1月20日 鶴沼御別邸に御移居
- 1953年(昭和28年) 1月 4日 薨去

※出典・参考文献:「秩父宮雍仁親王」「御殿場清話」「銀のボンボニエール」「思い出〜秩父宮妃殿下」「秩父宮と昭和天皇」「秩父宮妃勢津子」

CHICHIBUNOMIYA MEMORIAL PARK

交通案内 / 利用案内



■ 開園時間

4月	9:00~17:00
5月9~3月	9:00~16:30
6・7・8月	9:00~17:30

ご入園は
開園時間の
30分前まで

※記念館閉館は16:00 (6~8月は16:30)
※イベント開催時などに開園時間が延長されることがございます。

■ 休園日 毎月 第3月曜日 (祝日を除く) 12月29日~1月1日
※4月、11月はHP参照 ※月曜日に祝日開園した場合はその翌日。
※臨時休園日がございます。詳しくはお問合せ下さい。

■ 入園料 《御殿場市民無料》

区分	個人	団体/10名以上	定期入園券★
一般	300円	250円	1,500円
小・中学生	150円	100円	750円

★定期入園券は発行日から起算して1年間有効です。ご本人に限り、入園出来る入園券です。

■ 駐車場/1回

普通自動車	200円
バス・マイクロバス/100名未満	1,000円
/100名以上	無料

■ 交通案内

東名御殿場I.C.から ●お車で約3分 ●徒歩約10分

JR御殿場駅・箱根乙女口より 時刻表 QRコード→
無料送迎バス運行中 ※月曜日は原則運休致します。
●タクシーで約10分



■ 園内でのお願い

- 所定の場所以外での飲食・喫煙はご遠慮ください。
- 園内への酒類の持ち込みはご遠慮ください。
- 動物を連れての入園はご遠慮ください。
- 自転車・バイクの乗り入れはお断りします。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 物品の販売、募金、営業用の写真興行行為には許可が必要です。

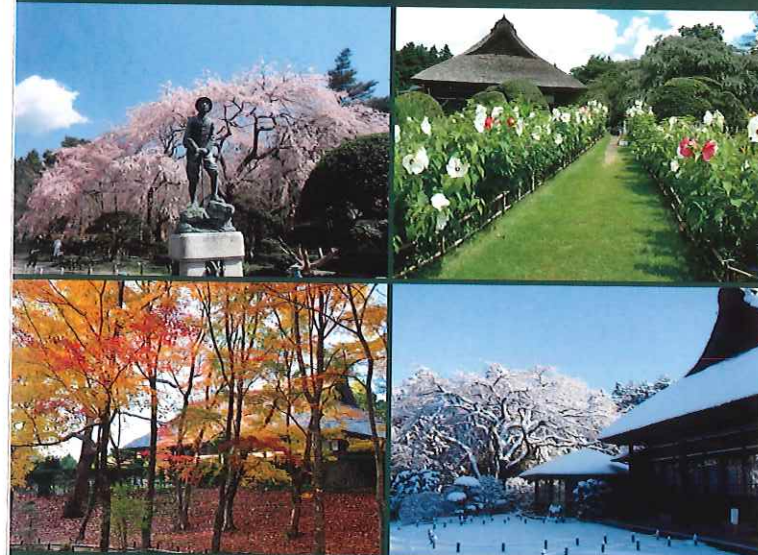


秩父宮記念公園

〒412-0026 静岡県御殿場市東田中1507-7
TEL 0550-82-5110 FAX 0550-84-2228
<http://chichibunomiya.jp/>



秩父宮記念公園



<http://chichibunomiya.jp/>



GUIDE MAP

ガイドマップ

秩父宮記念公園は、昭和16年(1941)9月から約10年間、秩父宮兩殿下が実際にお住まいになられた御別邸です。秩父宮妃勢津子殿下が平成7年(1995)8月にお亡くなりになられた際の御遺言により御殿場市に御遺贈いただき、園内を整備し平成15年(2003)4月に開園した公園です。ヒノキ林に囲まれた本公園は箱根山麓の風光明媚な地域にあり、敷地面積は約18000坪(東京ドームの約1.5倍)標高約500mに位置する庭園は豊かな自然と兩殿下が愛された山野草をはじめ四季折々の花々を楽しむことができます。



森のエントランス

故寛仁(ともひと)親王殿下がお書きになられた園名板と爽やかなヒノキ林がお客様を歓迎します。5月頃にはシャガの花が開花します。



母屋・しだれ桜

享保8年(1723年)に建てられた茅葺の母屋(御殿場市指定文化財)です。樹齢130年余りのしだれ桜は誰をも魅了します。雨落ちには妃殿下が愛された濃い色のスミレが育っています。



秩父宮メモリアルガーデン(草葺の庭)

もみじバフウから茅葺母屋までの範囲で左側エリアは当時「宮様の農事試験場」と言われた畑を再現し、土地にあった野菜を育て「宮菜」と呼び、右側は「節花」と名付け、古木・山野草・宿根草等で自然を大切に四季・命の営みを表現する庭となっています。



防空壕

園内には兩殿下専用、将校専用、御付の方々用の3か所の防空壕があり戦後70年の平成27年(2015)夏、将校用防空壕が公開され、現在は兩殿下専用防空壕も合わせ2つが公開中。



売店休憩所

地場産品を始め品揃え豊富な売店やイベントなどを開催する休憩所、多目的室、会議室などの貸出施設があります。ぜひお立ち寄りください。

- ### 【車いすご利用の方へ】
- 西門より、入退場していただけます。
 - 園内は、バリアフリーとなっております。
 - 園内のトイレはすべて車いす用も備え付けております。
 - 記念館内は、室内用車いすをご用意しております。ご利用の際は受付にお申し出ください。
 - 母屋内はバリアフリー対応となっておりますので、車いすでの入場はできません。予めご了承ください。

秩父宮記念公園

「日本の歴史公園100選」
「美しい日本の歩きたくなる道500選」
に選ばれました

国土交通省
「ガーデンツーリズム制度」
に登録されました



うぐいす亭

秩父宮殿下の和歌「雪きえぬ山のおくにもおちこちのはひ松つたひうぐいすのなく」より名付けられたカフェです。月替わりでオリジナルケーキや和菓子、当園限定コーヒーや軽食もあり、散策の疲れを癒す空間です。

銅像

昭和3年(1928年)に昭和天皇より贈られた登山服姿の殿下の銅像は彫刻家の朝倉文夫氏が制作したもので昭和19年(1944)に東京から当地に移転し富士山に向けて設置されています。



記念館【展示室】

平成4年(1992)に建てられた新館の一部を改装し秩父宮家から御遺贈頂いた品々を中心とした常設展示と年数回の特別展示をしています。園内にある三峰窯の作品も多数所蔵しています。



母屋【リビング】

殿下は英国留学の経験があり、親交の深かった英国から家具やカーテンを取り寄せ、英国風の部屋を再現し、書斎、応接間、食堂として使用されておりました。殿下は、ここで英国にいる気分になり、寛がれておりました。



母屋【炉の間】

兩殿下がくつろがれた囲炉裏があり、現在でも地元のボランティアの方が茅葺(かやぶき)屋根の保存(害虫駆除等)を目的とした燻蒸(くんじょう)作業を行っています。



母屋【西の間】

昭和16年(1941)、妃殿下は、殿下の療養には富士山の見える所を希望され、西の間を下見し、部屋から富士山が見えると当地を療養地に決められました。御別邸が当地にできたのは西の間があったからです。

